

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritages

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信

Information of Cultural Heritage in OHMI

vol. 59

2024 Spring

【調査速報】 新たな古墳群を発見！—栗東市六地藏遺跡—

【令和5年度の調査概要】 一県内各地での発掘調査成果を振り返って—

【お知らせ】 催物案内・募集

「しがぶん募金」 ご支援・ご協力ありがとうございます！



六地藏遺跡

【調査速報】 新たな古墳群を発見！

りっとうしろくじぞう
— 栗東市六地藏遺跡 —



六地藏遺跡の古墳群 (写真提供：滋賀県)

六地藏遺跡は、県南部の栗東市六地藏に所在する遺跡です。野洲川の左岸に位置し、野洲川が形成した扇状地の扇頂部に立地しています。

遺跡の南側には標高222.9mの日向山があり、西麓には古墳時代後期の日向山古墳が分布しており、山頂には戦国時代の山城(多喜山城遺跡)が築かれていたことが知られています。また、遺跡の北側には近世の東海道(古代東海道をほ

ぼ踏襲)が通過しており、現在でも街道に沿って建つ家並みが東西に連なっています。

発掘調査は六地藏地区のほ場整備工事に伴って令和4年度から実施しています。今年度の調査では古墳時代の古墳群、古墳時代から室町時代にかけての溝などの遺構を確認しました。これらのうち古墳については、いままでその存在が全く知られていなかったものです。

◆新たに見つかった古墳群

古墳群では少なくとも 15 基以上の古墳が見つかっています。今回検出した古墳のうちで、唯一の円墳（1号墳）は、墳丘の規模が直径 22.0 mで、墳丘をとりまく周溝は幅 5.0m・深さ 0.5 mでした。そのほかは方墳で、もっとも規模が大きな古墳（6号墳）は墳丘の規模が一辺 15.8 mで、墳丘をとりまく周溝は幅は 5.0m・深さ 0.6mでした。

これらの古墳のうち出土した遺物から、3号墳は前期後半（4世紀末頃）、6号墳は後期初頭（6世紀初頭）であると判断されます。しがたって、古墳時代を通じて古墳が築かれていたことがわかりました。なお、6号墳やその周辺からは埴輪（円筒埴輪）の破片が出土しており、墳丘に埴輪を建て並べていた古墳があったとみられます。

◆調査成果からわかったこと

発見した古墳群は墳形や規模などから集落の有力者が築いた古墳であったと考えられます。近くを流れる葉山川の下流にある高野遺跡では同時期の集落が複数の地点で見つかっています。同じ流域に立地するこれらの集落の居住者によって、今回の古墳群は築かれた可能性が考えられます。

なお、この遺跡が所在する小字「東浦」という範囲には、古墳に関連した字名である「塚越」と称する場所があったことが知られていました。今回の調査成果によって、地域に残された地名の由来となる古墳を発見することができたとともに、古墳が点々と分布したかつての景観が明らかになったといえます。



1号墳(南から)



6号墳(南から)



6号墳から出土した土器・埴輪

～発掘調査現場の作業員さんの声～



金子洋平さん

「遺跡巡りが趣味で、発掘調査の現場も見学をしたりしていました。」

「興味があったので、退職を機に、時間的な余裕ができたので参加しようと思いました。」

「作業をされていて、運よく珍しいものをたくさん見ることができたときには、とりわけ楽しいと感じます。」

◇当協会では、発掘調査の作業員さんとして、シルバー人材センター会員の皆さんに お手伝いいただいています。

金子さんも六地藏遺跡の所在する地元栗東市の会員さんです。インタビューからは、やりがいや充実感が伝わってきました。

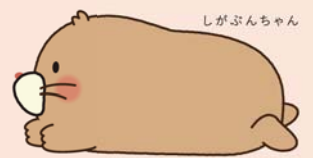
今回の調査でも、たくさんの興奮を味わっていただけたようです。



詳細資料



どきっち



しがぶんちゃん



◆令和5年度にも、当協会では、県内各地で計画された各種開発事業に伴う事前発掘調査を実施しました。対象となる遺跡は時代・時期ともにさまざまでしたが、滋賀県の歴史をあきらかにする重要な成果をえることができました。本通信でも紹介しましたが、今回は、それら令和5年度の調査例からとくに4つの遺跡を取り上げて、その成果を振り返ってみます。

①近江八幡市^{みたちまえ}御館前遺跡では、今年度の調査で古墳時代の竪穴建物8棟を確認しました。昨年度調査分もあわせると12棟になります。これらの建物からなる集落は古墳時代中期から後期にわたり、近くに展開する千僧供古墳群と深く関連する集落と考えています。

②栗東市^{ろくじぞう}六地藏遺跡では、いままで知られていなかった方墳・円墳からなる古墳時代の古墳群を検出し、それらに伴って土器や埴輪等の遺物が出土しました。付近には古墳時代前期の岡山古墳、古墳時代後期の日向山古墳の存在が知られており、今回見つかった古墳群はその間を埋める時期の古墳となりました。この地域に古墳時代をとおして古墳を築造しえた勢力の存在を示しています。

③野洲市^{ふくりんじ}福林寺古墳群では、古墳時代後期の群集墳中の1基(2号墳)の解体調査を実施しました。2号墳は直径10mほどの円墳で、古墳の中に埋葬施設として横穴式石室をもっています。令和4年度までの調査で石室内の様相が明らかになり、今年度には古墳を解体して、築造過程を解明する調査を実施しました。その結果、数段階にわたる、墳丘の盛り土と石室の積み上げ工程の実態がわかりました。

④守山市^{よこえ}横江遺跡は、これまでの調査で中世集落遺跡として知られていました。今回、以前の調査地の南側に隣接するエリアで発掘調査を実施しました。平安時代後期頃の16棟以上の掘立柱建物を検出しました。これらの建物群は三か所に分散し、それぞれのグループは大型建物と中小型建物から構成されることから、三つの屋敷地が存在したことがわかりました。



①御館前遺跡で見つかった竪穴建物(古墳時代後期)



②六地藏遺跡で見つかった古墳群と三上山



④横江遺跡で見つかった大型建物(平安時代後期)



③福林寺2号墳の全景(古墳時代後期)

今後、県内各地で発掘調査を実施する予定です。新たな成果があれば、積極的にお伝えしていきますので、ご期待ください。調査成果については、当協会ホームページでより詳細な説明資料を用意しております。





◆令和6年度 連続講座のご案内

文化財の専門職員が、最新の調査・研究成果を分かりやすくお伝えします。令和6年度も直接対面受講とオンライン/サテライト受講ができます。

●開催時間 各回 10:00～11:30

●申し込み方法 右表のとおりです。受講の仕方によって、受講料・申込方法が異なりますのでご注意ください。

●申し込み締め切り

R6年5月15日(水) 17:00まで

●問合せ

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

077-548-9780 (平日 8:30～17:15)

受講方法と会場	【本会場】で対面での受講	【オンライン会場】での受講	
	【Aコース】 県埋蔵文化財センター	【Bコース】 能登川博物館 (1-3講) 安土城考古博物館 (4-8講)	Dコース ご自宅 (Zoom使用)
定員	40名	50名	100名
受講料	全8講 一括払い 12,000円	全8講 一括払い 8,000円	
申し込み方法	【電話】でお申し込みください。 077-548-9780 (平日9:00～17:00) 希望者多数の場合は【抽選】となります。抽選結果は5月下旬を予定しています。	【メール】でお申し込みください。 shop@shiga-bunkazai.jp メールにはお名前・ご住所・電話番号を記載をお願いいたします。	

日程	タイトル	講師	
第1講 6/22	蒲生野をひらくー古代の開発と神社遺構	当協会調査員	中村智孝
第2講 7/27	愛知川扇状地をひらくー中近世の灌漑と治水の歴史	当協会調査員	神保忠宏
第3講 8/24	湖東に根付いた武家勢力ー中世六角氏と家臣団の城	当協会調査員	小林裕季
第4講 9/28	青銅器から弥生時代を覗くー青銅を崇めた弥生人たち	京都橋大学	南健太郎氏
第5講 10/26	海を越えた大刀は語るー古墳出土の装飾付大刀とは？	滋賀県立大学	金宇大氏
第6講 11/23	ふしぎなストーンサークルの謎ー石をならべた縄文人たち	当協会調査員	中村健二
第7講 12/21	大仏は幻の紫香楽宮でつくられたー甲賀寺での造像の実状に迫る	安土城考古博物館学芸員	大道和人
第8講 1/25	石田三成が描いた城下町の姿ー新発見・佐和山城跡の発掘調査成果から	当協会調査員	山口誠司

◆催物案内 2024年4月～6月 (問合せ 会場:滋賀県立安土城考古博物館→0748-46-2424/そのほか→077-522-8179)

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
～4/7(日)	9:00～17:00	展示	第69回企画展 滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 「近江の文化財を継ぐー修理・複製・復元ー」	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室
4/27(土)～5/26(日)	9:00～17:00	展示	令和6年度春季特別展 「稀品・逸品ー滋賀県出土の指定文化財を中心にー」	無	不要	入館料	滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室
5/11(土)	13:30～15:00	講座	春季特別展関連講座「弥生時代の近江」(仮) 講師：伊庭功 (当館前学芸課長)	100名	不要	300円	滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム
5/18(土)	13:30～15:00	講座	春季特別展関連講座「古墳時代の近江」(仮) 細川修平氏 (滋賀県文化スポーツ部)	100名	不要	300円	滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム
5/22(水)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ① 「再発見した西郷隆盛書簡とその伝来ーアメリカから滋賀へー」 講師：井上優 (滋賀県文化スポーツ部兼琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) *サテライト会場有
5～9月(予定)	9:00～17:00	展示	地域連携企画展「幕末を生きた人々の残像ー公文書に残る直筆書簡ー」	無	不要	無料	滋賀県立公文書館
6/19(水)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ②「目からウロコの仏像のきほん」 講師：和澄浩介 (県立琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) *サテライト会場有

◆その他 :2024年5月27(月)～9月2日(月) 滋賀県立安土城考古博物館リニューアル工事にかかる臨時休館

【お知らせ】文化財で人づくり・地域づくり

「しがぶん募金」のご支援・ご協力ありがとうございます！



「しがぶん募金」は令和3年4月から開始し、令和5年度には249,000円(令和6年2月現在)のご寄付をいただきました。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。寄付金は、文化財が持つ価値と情報をさらに活かして、次代を担う人づくり、地域づくりのための、様々な普及啓発に使わせていただきます。

ご支援・ご寄付をいただきました皆様への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

◆令和5年度 寄付者様ご芳名 (順不同・敬称略)

今西雄司・藤原勝利・安井政幸・吉田勝晶

【掲載を希望されない寄付者様】 7名 (令和6年2月現在)

*ご芳名の公開を希望されない寄付者様につきましては、掲載していません。

今後とも、文化財をとoshた人づくり・地域づくりを継続するために皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



令和5年度普及啓発事業の一部 (大学生による展示解説)